

CSRの取り組み

当社は、CSR経営の基本理念に則り、ステークホルダーとの良き関係性の構築に向けてCSRを推進しています。コーポレートガバナンス・コードの「会社の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上」という趣旨・精神をCSRにつながるものと認識し、尊重・実践するとともに、内部統制をCSRの基盤と位置付けています。また、内部統制推進に際しては、リスクマネジメントとコンプライアンスを中核かつ両輪と位置付けています。化学メーカーである当社においてレスポンシブル・ケアは、CSRの大きな領域を占めていると認識し、全社的な推進体制を整備し、保安・環境・品質のマネジメントシステムを着実に運用するとともに、システムの継続的な改善に努めています。

社会から信頼され顧客に選ばれ続けるトクヤマグループとして持続的な成長を実現するため、当社グループは「行動憲章」「5つの良心」を制定し、事業所でのパネル掲示や手帳版冊子の配布などにより周知徹底を図っています。また、当社グループ各社の「行動指針」を制定し、それぞれのステークホルダーとの関係を規定しています。

環境とのかかわり

地球環境保全への積極的な取り組みは、企業が果たすべき重要な社会的責任です。トクヤマは、事業活動におけるすべての過程で、環境という視点を重視する「環境経営」を実践しています。

2017年度の実績

事業活動におけるINPUT・OUTPUTを正確に把握し、新たな目標設定のもと環境負荷の低減に努めています。2017年度は、エネルギー消費原単位率、廃棄物有効利用率、ゼロエミッション率で目標を達成しました。

他のパフォーマンスデータの目標値については、現状の低負荷状態を維持するため、部署ごとに管理目標値を定めて、活動し、環境への低負荷状態を維持・推進しております。

事業活動にともなうマテリアルフロー (単位:千トン)



※数値はすべて2017年度(株)トクヤマ単体

社会とのかかわり

地域・社会から必要とされる企業であり続けるために、ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを大切にしています。

社会貢献活動

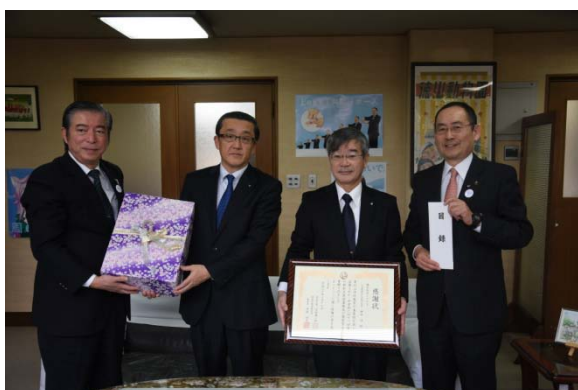
地域コミュニティとの対話を通じて、保安防災や環境保全への取り組みについて理解を深めていただくなど、地域・社会から必要とされる企業であり続けるため、様々な活動を行っています。

<御影文庫の寄贈>

トクヤマは社会から必要とされる企業であり続けるため、さまざまな活動を行っています。

1978年に創立60周年事業の一環として始まった「御影文庫」は、今年で41年目を迎えました。本活動では毎年周南市内の小・中学校へ図書目録を寄贈しており、これまでの寄贈総額は2億円を突破しました。

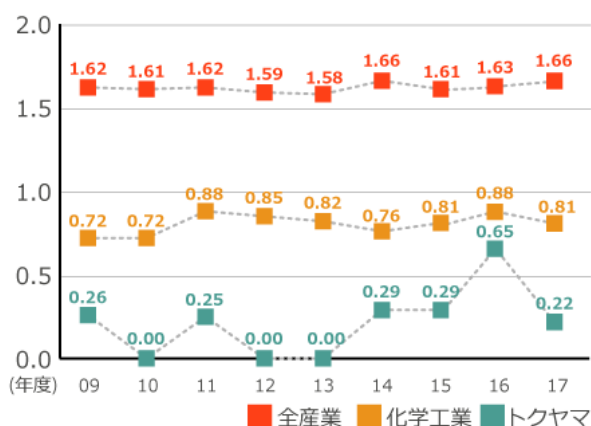
2018年は周南市内の小・中学校41校に各10万円の図書目録を贈り、さらに100周年の節目に合わせて書架を寄贈しました。木村周南市長からは、「御影文庫を読んで育った子どもたちが社会の中堅として活躍し、大変感謝している」と謝辞をいただき、安達徳山製造所長へ感謝状が贈られました。



保安防災・労働安全衛生

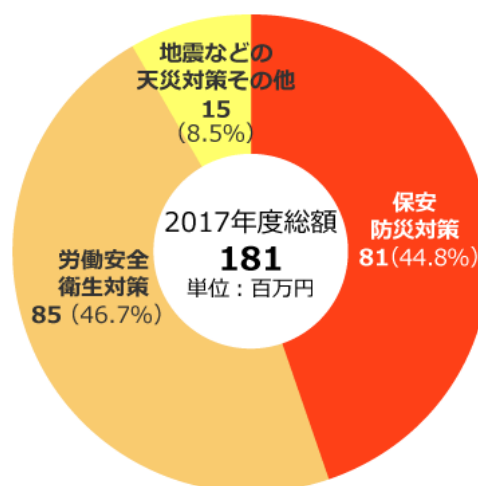
「保安は事業活動の基本であり、保安の確保は社会との共生の第一歩である」という姿勢のもと、徹底した保安防災活動と労働安全衛生活動を実施し、無事故・無災害を目指すとともに良好な職場環境の確保に努めています。

休業度数率^{*1}の推移



*1 休業度数率：100万延労働時間あたりの労働災害による休業者数で表示し、労働災害発生頻度を表す。

安全防災・労働安全衛生対策投資



その他 CSR 情報につきましては、当社 CSR 報告書又はウェブサイトをご参照ください。

(<http://www.tokuyama.co.jp/csr/index.html>)